

成度候

6. 7. 25

2683

住友製鋼所紛議經過概要續報其之三

五月中旬（五月十八日）以降、紛議は已に經濟闘争の域を脱し、寧ろ階級的社會的闘争と化し、本來直接争議に關係なき住友事業所在各地に於て、故に事を構へ以て住友に對する執拗なる敵對行動を持續せり
即ち一方東京に於ては、再度西園寺公卿に解決方噴願（六日、十一日）に赴き、更に六日、彼等幹部は「住友事業發祥地たる別子に一指も觸れざるは労働組合の恥辱なり云々」と號し、大衆党及全勞の幹部麻生、加藤、水谷、山内、吉田、鈴木等擧つて別子に赴き、演說會等を催し、煽動大に劃する處、あらんとせしむ、全地方一般人士は過去の争議に於ける苦き経験に鑑み、平地に波瀾を起さんとすべからざる結果、彼等は全く所期の目